

学校教育目標（具体目標）

- ・健康でたくましい子
- ・豊かな心、思いやりのある子
- ・よく考え、学び合う子



柏っこ

令和4年度
第2号

学校だより

令和4年4月28日
海老名市立柏ヶ谷小学校
校長 麻生 仁
電話 046-231-1630

つながり



校長 麻生 仁

つい先日まで、多くが幼稚園や保育園等で生活していた1年生から、1年後には中学生となる6年生まで、幅広い年齢の児童たちが共に生活を送る小学校においては、縦のつながりを生かした教育活動を積極的に行っています。

朝の登校班では、高学年の班長さんが後ろを歩く1年生の様子を時々気にしながら、ゆっくりと歩いている姿を目にします。入学後の数日間、登校後の1年生の教室には、6年生児童が数人やってきて、朝の支度や授業準備などのサポートをしていてくれました。一つひとつの事柄が初めての連続である1年生にとっては、とても心強く頼りになる存在です。やさしく笑顔でサポートしてくれている6年生と、それに頼っている1年生の様子は微笑ましく、あたたかい気持ちになります。

高学年児童の中には、4～5年前、お兄さん、お姉さんから同じように「さまざまな場面でお世話してもらった」記憶が残っている児童もいるのかもしれませんが。自分が受けたサポートを今度は下級生に返していく。脈々と続く、小学校ならではの素敵なつながりですね。

異年齢集団を通じての経験や学びは、学校教育活動における大切な要素の一つだと思っています。今後も工夫や改善を重ねながら、大切にしていきたいと思っています。

ある日のできごと



4月のある日、雨上がりの下校時間に、正門で児童を見送っていたときのことです。門扉の上に肘をついた私を見て、ある2年生女児が、「校長先生、そこ濡れてるよ!」と声をかけてくれました。時すでに遅し。

案の定、スーツの肘付近が広範囲に濡れてしまいました。するとその児童が即座にかわいいウエストポーチから、小さなタオルハンカチを出して、「はい!」と差し出してくれたのです。その間、わずか数秒。私もタオルを持っていたので、その児童のタオルは使わず、元に返してもらいました。そして、明るく笑顔で、「校長先生もタオル持ってたんだねー!」と一言。

まだ7歳の児童の純粋で素直で、さりげないやさしさに触れ、なんとも幸せな気分になったので、心からお礼を言いました。そんな彼女の周りには、家庭でも学校でも、いつもたくさんの笑顔があふれているのだろうと想像できます。私たち大人が、人として大切なことを子どもたちから教えられることはたくさんあります。そんなことを改めて感じた、ある日のできごとです。

授業参観・懇談会終了

4月20日（水）～22日（金）の3日間日程で、授業参観・懇談会を実施しました。お忙しい中、多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

新たな環境で、学校生活に臨むお子様の姿はいかがだったでしょうか。素直で物怖じしない、柏っこたちも、さすがに少し緊張気味だったように見えました。

その後の懇談会においては、学年所属教員から、学年目標や保護者の皆様へのお願いなどを説明させていただきました。出張が重なってしまった1学年を除き、校長の私からも直接ご挨拶することができ、大変貴重な機会となりました。

私からは、主に3点についてお話しさせていただきました。（以下概要です）

① 学校経営方針のキーワードについて

「個別最適な学び」をキーワードとして掲げました。全職員が全児童の担任になった気持ちで、積極的に児童に関わり、寄り添いながら指導・支援にあたっていきます。

② 児童の心身の安全について

例えば、いじめ問題や虐待事案等に対しては、関係法令等に基づき、外部諸機関とも連携を図りながら、学校として毅然とした姿勢で対応にあたります。

③ 教育機関である学校としての対応の限界について

児童に係る指導・支援については、職責として全力で対応にあたります。一方、多様化が進む現代社会において、保護者の皆様の価値観や考え方等を学校が修正したり、調整を図ったりすることは難しいこともあります。保護者がわが子を愛する気持ちや、学校が児童の成長を願う気持ちは共通しており、ブレることはありません。立場や関係性を越えて、お互いに認め合い、理解し合いながら、子どもたちの成長を共にサポートしていきたいと考えています。そのような姿を見せることが、私たち大人の責任であると思うのです。

